

PRO-i0 取扱説明書

このたびは(株)デジタル製 PRO-i0をお買いあげいただきありがとうございます。
ご使用前に本書を PRO-i0 マニュアルとあわせてよくお読みになり、正しくご使用
くださいますようお願いいたします。

安全に関する使用上の注意

本書には、本製品を正しく安全にお使いいただくための安全表記が記述されていま
す。本書ならびに関連マニュアルをよくお読みいただき、本製品の正しい取り扱い
方法と機能を十分にご理解いただきますようお願いいたします。

絵表示について

本書では、本製品を正しく使用していただくために、注意事項に次のような絵表示
を使用しています。ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載して
います。

その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う内容
を示します。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能
性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害
の発生が想定される内容を示します。

危険

- ・ 非常停止回路やインターロック回路などは本製品の外部で構成してください。これらの回路を本製品の内部で構成すると、本製品が故障した場合、システムの暴走、破損、および事故の恐れがあります。
- ・ 出力リレーの故障によって、出力がONまたはOFFのままになることがあります。このときシステムが安全側に働くように外部回路や機構の設計をおこなってください。
- ・ 重大な事故に繋がる恐れのある出力信号については、外部で監視するようにシステムを設計してください。
- ・ 本製品は一般工業などを対象とした汎用品として開発されたもので、人命に関わるような状況下での使用される機器、またはシステムに用いられることを目的として設計、製造されたものではありません。原子力、電力、航空宇宙、医療、乗用移動体など特殊用途への使用をご検討の場合は、株式会社デジタル営業担当までお問い合わせください。

警告

- ・ 取り付け、取り外し、配線作業、保守、および点検は必ず電源を切って行ってください。感電、火災の恐れがあります。
- ・ 本製品の解体、改造はしないでください。感電、火災の恐れがあります。
- ・ 可燃性ガスのあるところでは使用しないでください。爆発の恐れがあります。
- ・ 取扱説明書、およびマニュアルに記載された仕様以外での環境で使用しないでください。仕様の範囲外で使用すると、感電、火災、誤動作、および故障の恐れがあります。
- ・ 通電中は端子に触れないでください。感電、誤動作の恐れがあります。

注意

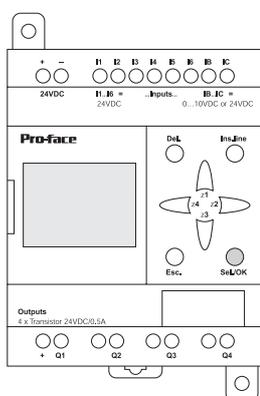
- ・ 通信ケーブルや入出力信号線の配線は、高電圧線、大電流線、インバータなどの高周波線、および動力線とは別ダクトにしてください。ノイズによる誤動作の恐れがあります。
- ・ 取り付けは取扱説明書、およびマニュアルの指示に従い確実に行ってください。正しく取り付けが行われていないと、誤動作、故障、および落下の恐れがあります。
- ・ 配線は取扱説明書、およびマニュアルの指示に従い確実に行ってください。正しく配線が行われていないと、誤動作、故障、および感電の恐れがあります。
- ・ 本製品内に切り粉、配線くず、水、液状のものなどの異物が入らないようご注意ください。誤動作、故障、感電、および火災の恐れがあります。
- ・ 本製品を取り扱われる方は、制御システムのプログラムおよび設計に精通した方に限ります。
- ・ ぬれた手で操作したり、ぬれた布で拭かないでください。火災、感電の恐れがあります。
- ・ 電源、入力、出力回路にはヒューズ、ブレーカなどを設置してください。火災の恐れがあります。
- ・ 機種により電源電圧が異なります。電源投入時は、お買いあげの機種型式をご確認のうえ、取扱説明書、およびマニュアルの指示に従い確実に行ってください。
- ・ 本製品を破棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。

故障しないために

- 直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所での保管、および使用は避けてください。
- 本製品は精密機器ですので衝撃を与えたり、振動の加わる場所での保管、および使用は避けてください。
- 本製品の通風口をふさいだり、熱がこもるような場所での使用は避けてください。
- 温度変化が急激で結露するような場所での使用は避けてください。
- 本製品はシンナーや有機溶剤で拭かないでください。

梱包内容

PRO-i0



PRO-i0 取扱説明書（本書）



PRO-i0 Installation Guide



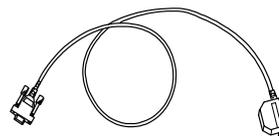
品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

別売品

PRO-i0 Editor
(DR1-SFT01J)

CD-ROM に PRO-i0 マニュアルが PDF として収録されています。
詳細はこちらを参照してください。
PRO-i0 マニュアルは（株）デジタルの Web サイトからもダウンロードできます。
<http://www.proface.co.jp>

PRO-i0 専用転送ケーブル
(DR1-CBL01)



PRO-i0 専用メモリパック
(DR1-MEM01)



UL/c-UL(CSA)認定について

PRO-i0はUL/c-UL(CSA)製品認定品です。(UL File No.E220851)
本機は以下の規格に適合しています。

UL508 工業用電気制御装置

CAN/CSA-C22.2, No.142-M1987

工業用電気制御装置

DR1-A101BD	(UL登録型式:DR1-A101BD)
DR1-B121BD	(UL登録型式:DR1-B121BD)
DR1-A201BD	(UL登録型式:DR1-A201BD)
DR1-B201BD	(UL登録型式:DR1-B201BD)
DR1-A101FU	(UL登録型式:DR1-A101FU)
DR1-B101FU	(UL登録型式:DR1-B101FU)
DR1-A201FU	(UL登録型式:DR1-A201FU)
DR1-B201FU	(UL登録型式:DR1-B201FU)

<注意事項>

- ・本機は機器に組み込んで使用してください。
- ・自然空冷の場合、本機はDINレールまたは取付ネジ穴を利用して垂直なパネルに取り付けてください。
また、全方向に100mm以上開けてください。この条件が満たされていないと、本機の内部部品の温度上昇がUL規格の要求を満たさなくなる可能性があります。
- ・本機に接続する電源ユニットは、UL/c-UL(CSA)に認定されたClass2電源ユニットまたはClass2トランス¹を使用してください。
単一電源により本機および負荷を駆動する場合は本機の消費電流と全負荷電流の合計が、Class2電源ユニットまたはClass2電源トランスの定格内になるように設計してください。
また負荷の数と負荷電流値によっては同時にONできる点数が制限される場合がありますのでご注意ください。

CEマーキングについて

PRO-i0はEMC指令に適合したCEマーキング製品です。

PRO-i0はEN55011 ClassAおよびEN61000-6-2に適合しています。

<注意事項>

本機のEMC規格への適合性については確認しておりますが、EMCの性能はPRO-i0を組み込んだ機械、制御盤の構成、配線・配置状態などにより変化します。機械・装置全体での最終的なEMC指令の適合性については、お客様自身で実施・確認していただきますようお願いいたします。

¹ Class2電源ユニットおよびClass2電源トランスとは、出力が30V、8A以下で、100VAを越えない電源ユニットおよび電源トランスのことです。(National Electrical Codeにて規定)

1 PRO-iOの種類

PRO-iOは、型式によって入出力点数、カレンダー機能、アナログコンパレータ機能、電断時保持機能、オンラインモニタリングモード機能の有無が異なります。

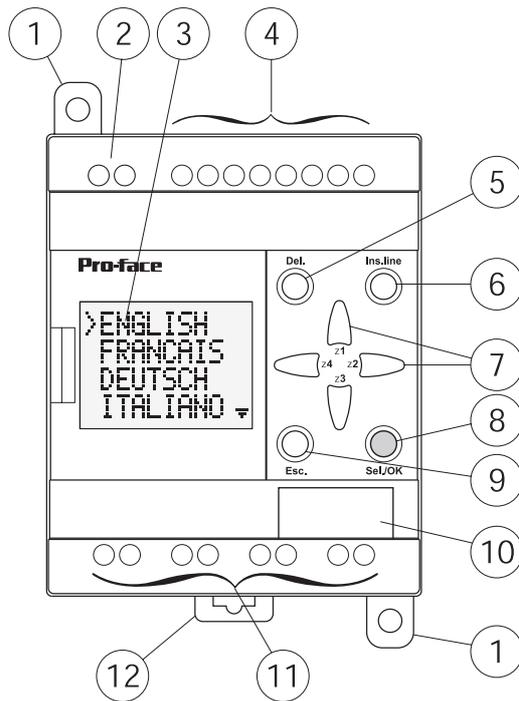
型式の見分け方について、参照 「PRO-iO マニュアル 型式の見分け方」

型式	電源電圧	入力/出力 点数	カレンダー	アナログ コンパレータ	電断時 保持	オンライン モニタリング モード
DR1-A101BD	DC24V	6/4	—	—	—	—
DR1-B121BD	DC24V	8/4				
DR1-A201BD	DC24V	12/8	—	—	—	—
DR1-B201BD	DC24V	12/8				
DR1-A101FU	AC100 ~ 240V	6/4	—	—	—	—
DR1-B101FU	AC100 ~ 240V	6/4		—		
DR1-A201FU	AC100 ~ 240V	12/8	—	—	—	—
DR1-B201FU	AC100 ~ 240V	12/8		—		



- ・ PRO-iO 本体のみで回路プログラミング可能ですが、使いやすいPRO-iO Editor (別売)でのプログラミングを推奨します。
- ・ PRO-iO Editor を使用するとシミュレーション機能で本体にプログラムをダウンロードする前にテスト、デバッグを行うことができます。

2 各部名称



取り付けツメ（引き出し式）

本体を直接盤にネジ止めする際に使用します。

電源端子

LCD 表示画面

入力端子 ¹

6 (I1 ~ I6)、8 (I1 ~ I6、IB、IC)、12 (I1 ~ IC) 点と機種により入力点数は異なります。

Del. キー（デリートキー）

接点やコイルを削除します。

Ins. line キー（ラインインサートキー）

ラング（命令と命令をつなぐ線）を挿入します。

Z キー（ゼットキー）

カーソルを移動します。また、ロジックプログラム内の接点の押しボタンとしても機能します。

Sel./OK キー

操作、選択などを確定します。

Esc. キー（エスケープキー）

キャンセルまたは上階層の画面に戻ります。

PRO-iO 専用転送ケーブルおよび PRO-iO 専用メモリパック接続コネクタ

リレー出力端子

4 (Q1 ~ Q4)、8 (Q1 ~ Q8) 点と機種により出力点数は異なります。

DIN レール取り外しフック

本体を DIN レールから取り外す際に使用します。

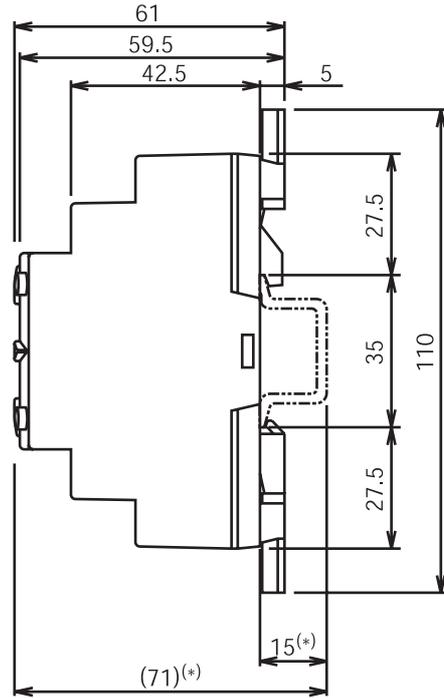
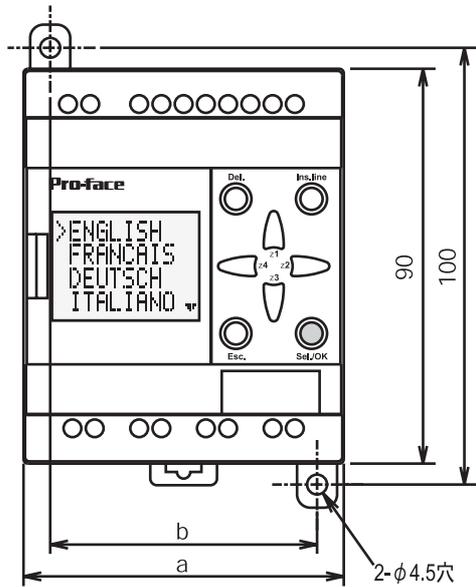
1 アナログコンパレータ機能で利用できる入力端子は、IB と IC の 2 チャンネルになります。詳細については、参照「6 配線」

アナログコンパレータ機能を使用しない場合は、IB と IC 端子は通常の入力端子として使用できますが、I1 ~ IA の端子と入力仕様が異なります。

詳細については、参照「4 仕様」

3 外観図

単位：mm



* 高さ 15mm レール使用時

外観図の a および b は、下表のように商品型式によって寸法が異なります。

	DR1-*1****	DR1-*2****
a	72mm	126mm
b	60mm	110mm



・ 盤にネジ止めする際に使用する取り付けツメは、引き出し式になっています。DIN レールに取り付ける場合は、ツメを本体側に押し込めてご使用ください。

4 仕様

一般仕様

項目	仕様	
	DR1-****BD	DR1-****FU
定格入力	DC24V	AC100V ~ 240V
定格周波数	-	50/60Hz
電圧許容範囲	DC19.2V ~ 30V	AC85V ~ 264V
周波数許容範囲	-	47 ~ 63Hz
許容瞬時停電時間	1ms以下	10ms以下
消費電流	DR1-*1**BD 83mA DR1-*201BD 130mA	DR1-*101FU 50mA(100V) 27mA(240V) DR1-*201FU 80mA(100V) 40mA(240V)
絶縁耐力	AC1500V 5mA 1分間 (出力部端子とDINレール間)	
絶縁抵抗	DC500V 100M 以上 (出力部端子とDINレール間)	
突入電流	30A以下	
使用周囲温度	0 ~ 55 (表示部含む)	
使用周囲湿度	95%RH以下(結露しないこと) 湿球温度39 以下	
耐気圧(使用高度)	800 ~ 1114hPa(標高2000m以下)	
汚染度	汚染度2	

DC 入力仕様 (DR1-****BD)

項目	仕様		
	DR1-A****BD: I1 ~ IC DR1-B****BD: I1 ~ IA	DR1-B****BD: IB、IC ¹	
入力電圧	DC24V		
定格電流	3mA(DC24V)	0.62mA(DC24V)	
入力インピーダンス	8k (ON時)	38k (ON時)	
入力点数	6点(DR1-A101BD)		
	8点(DR1-B121BD)		
	12点(DR1-*201BD)		
動作電圧	ON電圧	DC15V以上(1.8mA以上)	DC9.9V以上(0.16mA以上)
	OFF電圧	DC5V以下(0.5mA以下)	DC5V以下(0.08mA以下)
入力遅延時間	OFF ON	0.3ms(高速)/3ms(低速) ²	3ms(固定)
()内はフィルタ設定	ON OFF	0.5ms(高速)/5ms(低速) ²	5ms(固定)
入力信号表示	LCD表示		
絶縁方式	入力間、入力 ~ 電源間 非絶縁		

1 IB、IC端子は、アナログ入力としても使用できます。

2 入力フィルタ設定により遅延時間は異なります。また設定は全点共通です。

AC 入力仕様 (DR1-****FU)

項目	仕様	
	DR1-*101FU	DR1-*201FU
入力電圧	AC100 ~ 240V	
電圧許容範囲	AC85V ~ 264V	
周波数範囲	47 ~ 63Hz	
定格電流	0.6mA (AC100V) 1.4mA (AC240V)	0.9mA (AC100V) 2.0mA (AC240V)
入力点数	6点	12点
動作電圧	ON電圧	AC79V以上(0.4mA以上)
	OFF電圧	AC40V以下(0.3mA以下)
入力遅延時間	OFF ON	50ms (AC100V) / 22ms (AC240V)
	ON OFF	50ms (AC100V) / 90ms (AC240V)
入力信号表示	LCD表示	
絶縁方式	入力間、入力 ~ 電源間 非絶縁	

リレー出力仕様

項目	仕様	
出力定格電圧	DC5 ~ 30V、AC24 ~ 250V	
出力点数	4点 (DR1-*1****)	
	8点 (DR1-*2****)	
負荷電流	8A/DC24V、AC250V	
コモン	独立コモン	
機械的寿命	2000万回	
電氣的寿命	接点定格負荷にて10万回	
最小開閉負荷	17V、5mA	
内蔵ヒューズ	なし	
瞬時耐電圧	2.5kV (IEC947-1)	
出力信号表示	LCD表示	
短絡保護機能	なし	
過電圧、 過電流保護機能	なし	
出力遅れ時間	OFF ON	10ms以下
	ON OFF	5ms以下

アナログコンパレータ入力仕様 (DR1-B121BD、DR1-B201BD)

項目	仕様
入力チャンネル数	2チャンネル (IBとIC)
入力範囲	0 ~ 10V
分解能	8ビット (0 ~ 10V)
精度	フルスケールの $\pm 1.6\%$ (25)、 $\pm 2.9\%$ (55)
絶対最大入力	DC30V (電圧)
入力フィルタ	なし
入力インピーダンス	62.5k
絶縁方式	アナログ入力間、アナログ入力部 ~ 電源間 非絶縁

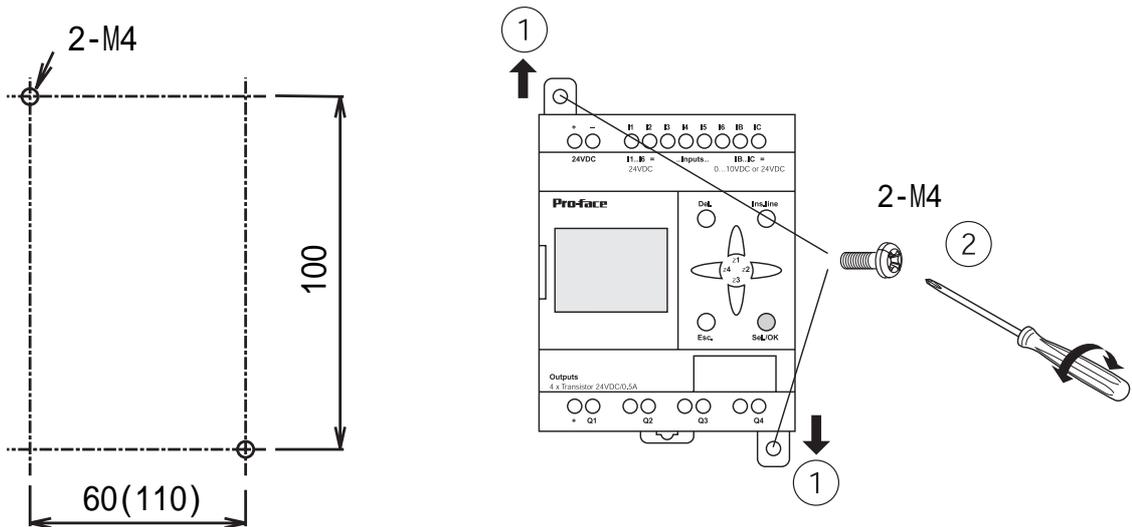
5 取り付け

直接取り付け

以下の取り付け穴図に従って取り付け穴を加工し、M4のネジで固定します。締め付けトルクは1.2～1.4N・mです。取り付け方向については、参照「PRO-iO マニュアル 2.1.1 盤への取り付け」

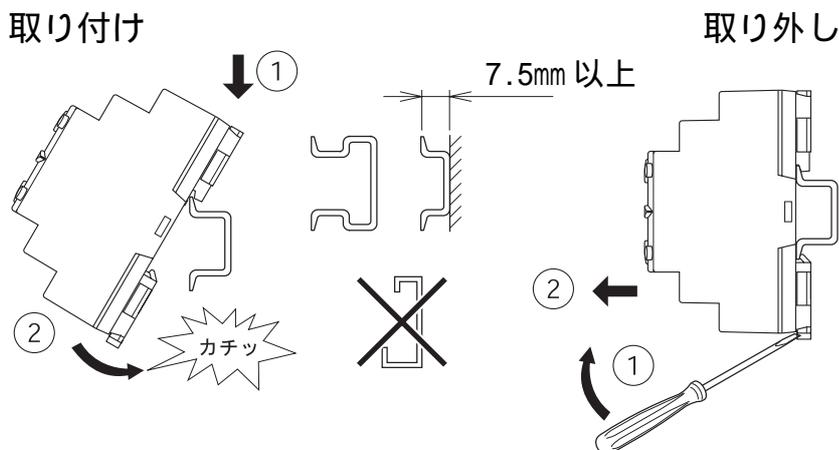
()内の寸法は、本体型式がDR1-*2**** の場合です。

単位：mm



DIN レール取り付け

DIN レール取り付けフックが確実にセットされていることをご確認ください。取り付け方向については、参照「PRO-iO マニュアル 2.1.2 DIN レールへの取り付け」

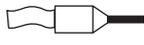
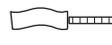
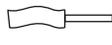
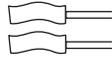


・盤にネジ止めする際に使用する取り付けツメは、引き出し式になっています。DIN レールに取り付ける場合は、ツメを本体側に押し込めてご使用ください。

6 配線

配線

配線できる電線は下表のようになります。

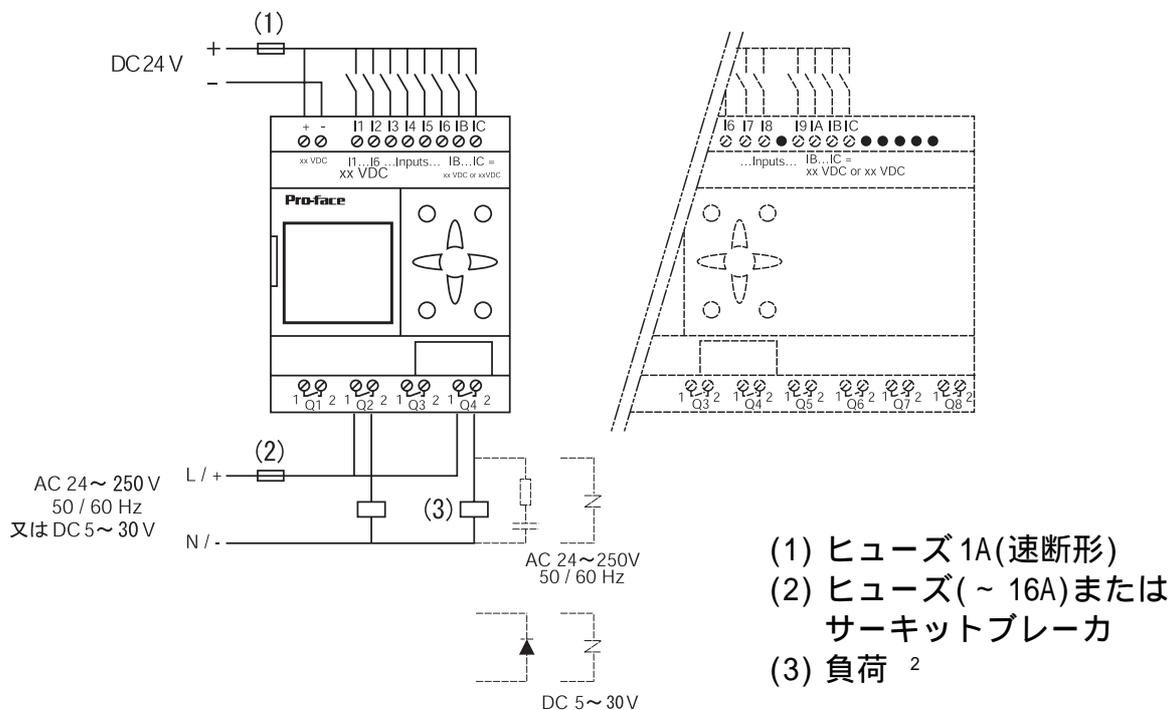
線種	棒端子	より線	単線	
				
mm ²	0.14 ~ 1.5	0.14 ~ 2.5	0.14 ~ 2.5	0.14 ~ 1.5
AWG ¹	—	26 ~ 14	26 ~ 14	26 ~ 16

- 重要**
- ・ 被覆の剥き代は、8mm としてください。
 - ・ より線を使用する場合、板端子または棒端子取り付けを推奨します。
 - ・ 適正締め付けトルクは、0.4N・m です。

⚠ 注意

- ・ 機種により電源電圧が異なります。電源投入時は、お買いあげの機種型式をご確認のうえ、取扱説明書、およびマニュアルの指示に従い確実に行ってください。

DC 電源タイプ(DR1-A101BD/DR1-B121BD/DR1-A201BD/DR1-B201BD)

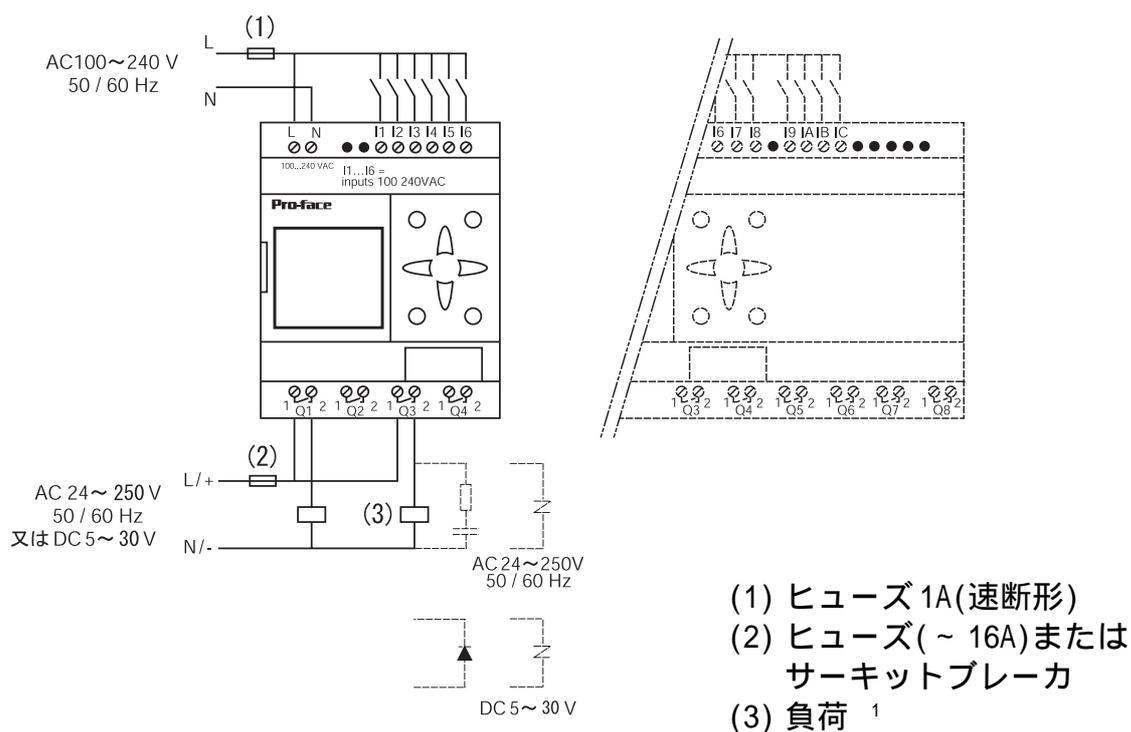


1 AWG とは、American Wire Gauge の略で導体の太さを示す尺度です。

2 マグネットやバルブなどの誘導負荷を駆動する場合は、ダイオード、サージキラー、バリスタの使用をお勧めします。

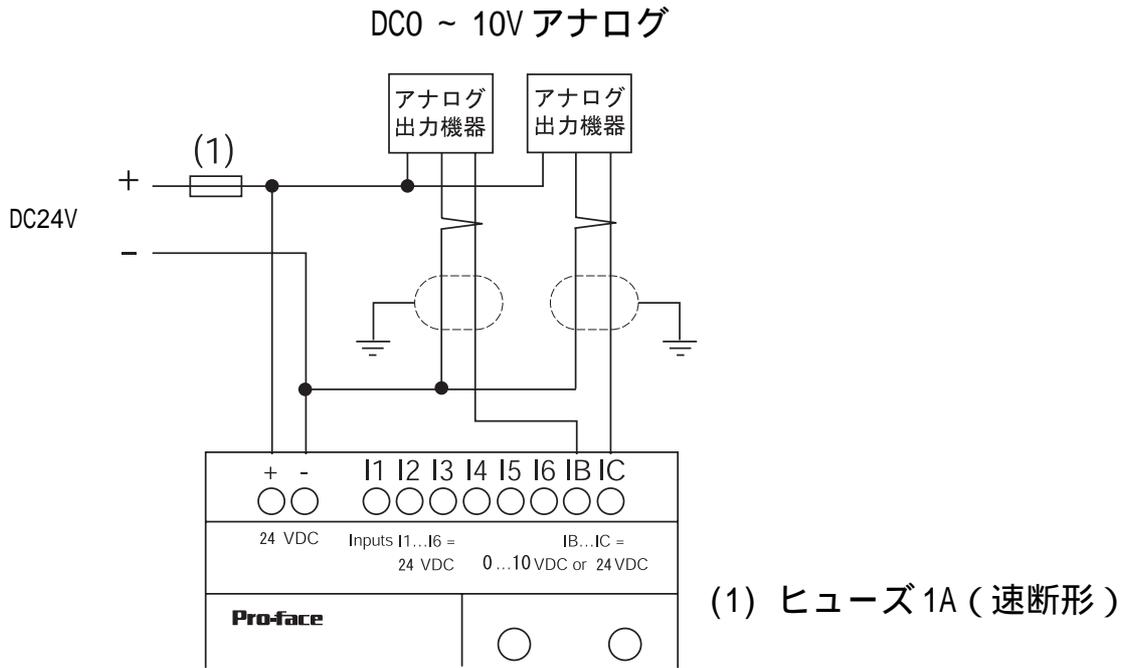
警告

- AC入力端子には、L(ライブ:非接地型)、N(ニュートラル:接地型)があり、安全規格上、L端子を商用電源の非接地側、N端子を接地側に接続しなければいけません。
これは電源部で地絡(ACラインとアースラインがショート)した場合にL端子に接続されたヒューズを溶断させ、感電を防ぎます。



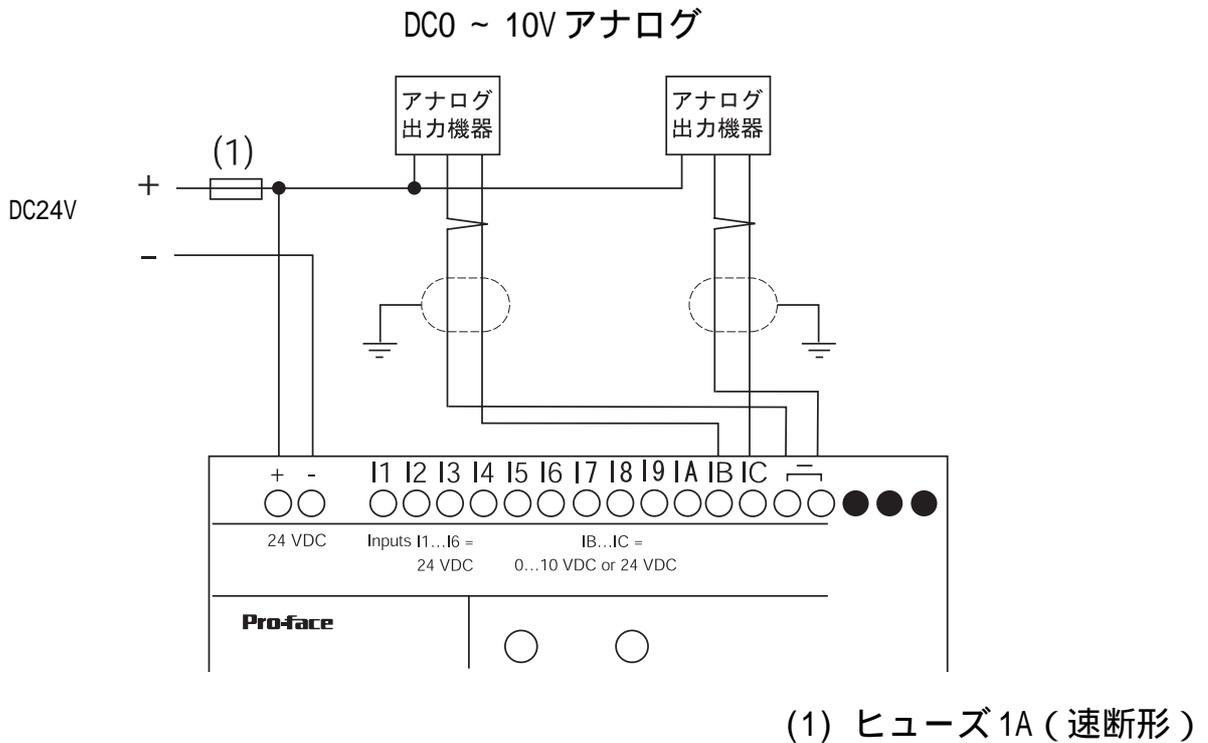
1 マグネットやバルブなどの誘導負荷を駆動する場合は、ダイオード、サージキラー、バリスタの使用をお勧めします。

アナログ接続(DR1-B121BD)



- 重要** ・ アナログ入力(IB/IC)へは、” - ”(マイナス)の電圧を印可しないでください。内部素子が破壊する恐れがあります。

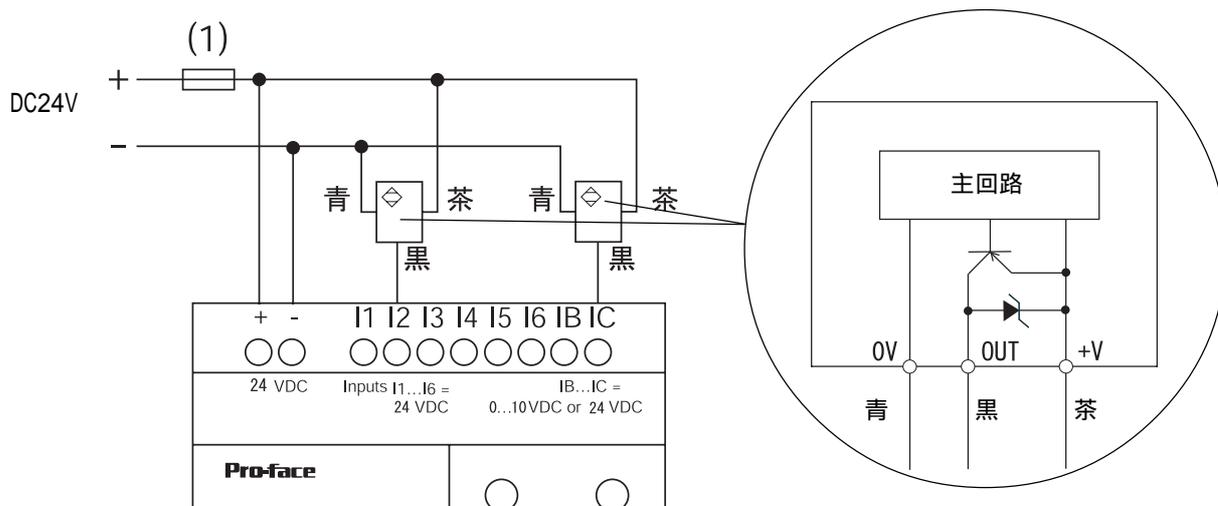
アナログ接続(DR1-B201BD)



- 重要** ・ アナログ入力(IB/IC)へは、” - ”(マイナス)の電圧を印可しないでください。内部素子が破壊する恐れがあります。

センサー接続(DR1-B121BD)

DR1-B121BD での PNP 出力センサー接続を下図に示します。



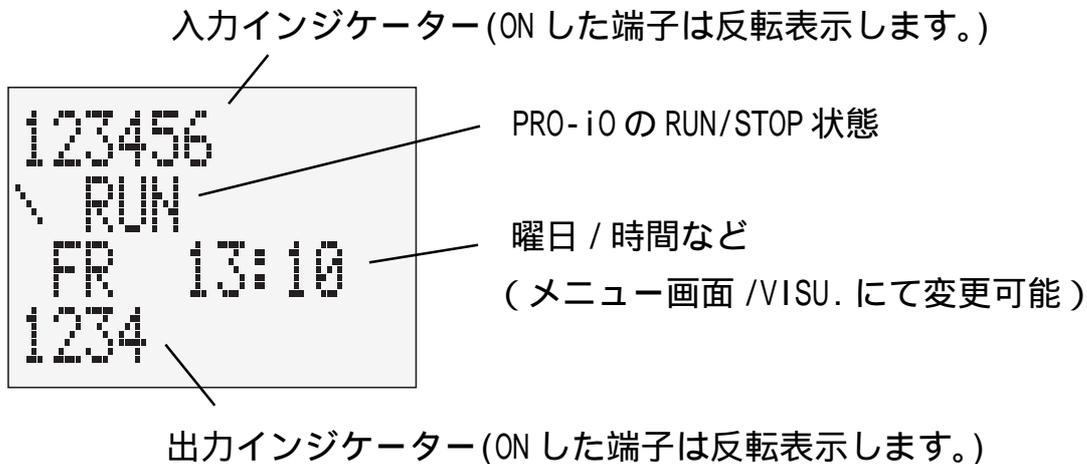
(1) ヒューズ 1A (速断形)

重要

- 本機の入力回路に直接接続する場合は、PNP 出力タイプのセンサーをご使用ください。
2 線式または NPN タイプのセンサーは直接接続できません。NPN タイプのセンサーを接続する場合は、参照「PRO-iO マニュアル 2.2.6 センサー接続」

7 表示画面と基本操作

PRO-iOの表示画面は、下図のようにRUN/STOPの状態や時間などが表示されます。また、「Sel./OK」ボタンを押すと、メニュー画面が表示され下記の項目設定が行えます。



TIME SET : 夏時間、冬時間、曜日、時間、分を設定します。(PRO-iO本体の型式が”DR1-B*****”の場合のみ。)



- ・ ”SUMMER”、”WINTER” は夏時間、冬時間の設定です。サマータイム制の導入されている国で使用される場合は本設定を行ってください。導入されていない国の場合、設定の必要はありません。どちらか一方の季節を使用してください。

PROGRAM. : RUN中であればロジックプログラムのモニタが、STOP中であればロジックプログラム作成、変更ができます。

PARAMET. : タイマ、カウンタなどのパラメータをRUN中でも変更できます。

VISU. : 画面に表示させるパラメータ(曜日/時間、タイマ経過値など)を決定します。1つのみ可能です。

RUN/STOP : PRO-iOのRUN/STOPを選択します。

CONFIG. : 下記の設定を行います。

PASSWORD : ロジックプログラムにアクセスするためのパスワードを設定します。Sel./OKキーで項目に入り、再度Sel./OKキーを押した後Z1からZ4キーでパスワードを選択し、Sel./OKキーを押します。パスワードを解除するには再度同じパスワードを入力する必要があります。(0000 ~ 9999)

LANGUAGE : 使用する言語を選択します。INIは言語、時間設定を初期化します。(電源再投入要)

- FILT : 入力フィルタ時間を設定します。DC入力タイプのみ装備しています。SLOW (3 ~ 5ms)、FAST (0.3 ~ 0.5ms) の2選択です。ただし、IB、IC端子は3 ~ 5ms固定になります。
- Zx=Keys : パネル前面のZ1 ~ Z4のキーをロジックプログラムで使用するかどうか決めます。Yesの場合、入力として使用できます。
- REMANENZ : 電源断時に保持したいデータをM1 ~ MF、T1 ~ T2、C1 ~ C5の中から選択します。(本体型式が"DR1-B*****"の場合のみ)

CLEAR PROG:ロジックプログラムを消去するかどうか選択します。

TRANSFER. :ロジックプログラムの転送方向を下記の4点から選択します。

Modul. PC :PRO-i0からパソコン (PRO-i0 Editor)

PC Modul. :パソコン (PRO-i0 Editor) からPRO-i0

- 重要** ・「Modul. PC」、「PC Modul.」について、PRO-i0本体の型式が"DR1-A*****"の場合、本設定で「READY」状態にしなければロジックプログラムの転送を行うことができません。

Modul. Mem :PRO-i0からメモリパック

Mem Modul. :メモリパックからPRO-i0

Soft:V.** :ソフトウェアのバージョンを確認することができます。(PRO-i0本体の型式が"DR1-B*****"の場合のみ。)

PROG.INFO.:ソフトウェアのバージョンおよびプログラム時の簡易情報を確認することができます。(PRO-i0本体の型式が"DR1-A*****"の場合のみ。)

8 接点 / コイル 一覧

接点

記号	番号	内容
I	I1 ~ IC ¹	物理的入力のア接点
i	i1 ~ iC ¹	物理的入力のb接点
Q	Q1 ~ Q8 ²	物理的出力のア接点
q	q1 ~ q8 ²	物理的出力のb接点
Z	Z1 ~ Z4	ゼットキーのア接点
z	z1 ~ z4	ゼットキーのb接点
M	M1 ~ MF	補助コイルのア接点
m	m1 ~ mF	補助コイルのb接点
T	T1 ~ TA ³	タイマのア接点
t	t1 ~ tA ³	タイマのb接点
C	C1 ~ CA ³	カウンタのア接点
c	c1 ~ cA ³	カウンタのb接点
A	A1 ~ A8	アナログコンパレータのア接点
a	a1 ~ a8	アナログコンパレータのb接点
Ⓔ	Ⓔ1 ~ Ⓔ4 ⁴	カレンダーのア接点
⓪	⓪1 ~ ⓪4 ⁴	カレンダーのb接点

コイル

記号	対応コイル	内容
[Q、M	通常コイル
]	Q、M	条件の立ち上がりで反転
S	Q、M	セットコイル
R	Q、M	リセットコイル
TT	タイマ	タイマスタートコイル
RT	タイマ	タイマリセットコイル
CC	カウンタ	カウンタコイル
RC	カウンタ	カウンタリセットコイル
DC	カウンタ	カウント方向指定コイル
TX	テキスト	テキスト表示コイル
RX	テキスト	テキスト非表示コイル

1 型式が "DR1-*201**" の場合です。"DR1-B121BD" の場合は8、"DR1-*101**" の場合は6になります。

2 型式が "DR1-*201**" の場合です。"DR1-*1*1**" の場合は4になります。

3 型式が "DR1-B*****" の場合です。"DR1-A*****" の場合は1 ~ 8になります。

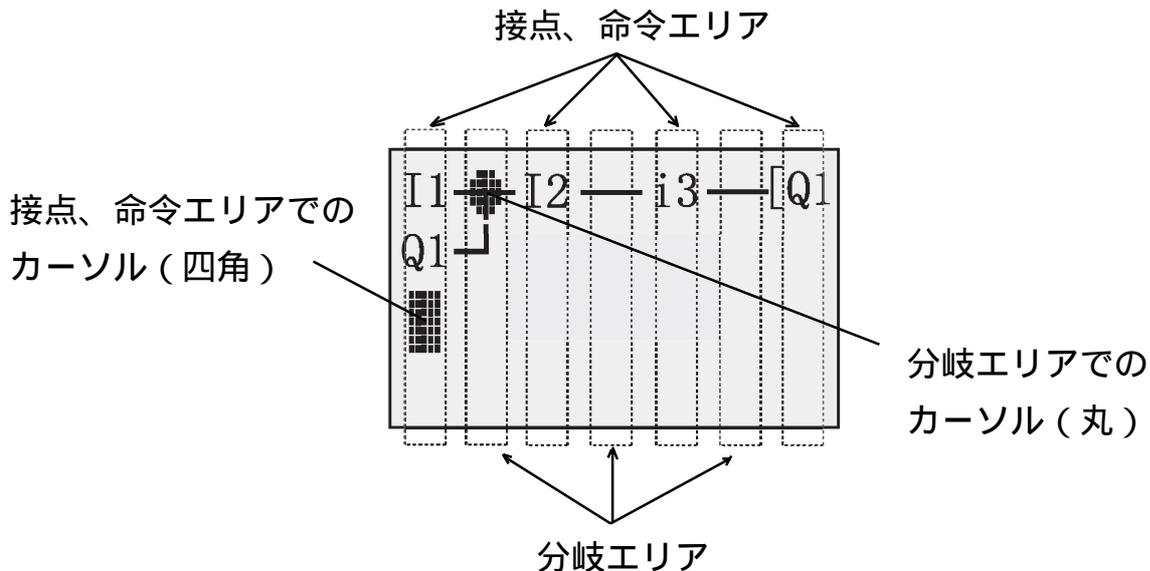
4 カレンダー機能付き機種のみです。(本体型式: DR1-B*****)

9 ロジックプログラムの書き込み

時計やRUN/STOPが表示されている画面から「Sel./OK」ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。ゼットキーのZ1、Z3で「PROGRAM.」を選択し、「Sel./OK」ボタンを押すと、ロジックプログラムの書き込みが可能になります。

画面構成

1 ラング（命令と命令をつなぐ線）は、下図のように最大で3つの接点と1つのコイルで構成されます。



命令の挿入

1. 命令エリアの決定

ゼットキーでカーソルを接点、命令エリアに移動します。「Sel./OK」キーを押すと、「I1」が表示され、I部分が点滅します。

2. 命令の決定

ゼットキーのZ1、Z3を押すと各命令がスクロールされ、「Sel./OK」キーで決定します。

3. 命令番号の決定

次に番号が点滅するので、命令と同様にゼットキーのZ1、Z3で選択し、「Sel./OK」キーで決定します。

命令の削除

命令を削除する場合は、命令上にカーソルを置き、「Del.」キーを押すと削除されます。

分岐の挿入

ゼットキーで分岐エリアにカーソルを移動し、「Sel./OK」キーを押すと「」が「+」に変わります。

結線方向にZ1～Z4のキーを押し、「Sel./OK」キーを押すとラングの分岐が作成されます。

分岐の削除

ゼットキーで分岐エリアにカーソルを移動し、「Del.」キーを押すと、ラングの分岐が削除されます。

10 電源断(瞬時停電)時のメモリバックアップ

本体型式が DR1-B***** について

内部の補助コイル(M1 ~ MF)、タイマ(T1、T2)、カウンタ(C1 ~ C5)の値は、電源断時に自動的に内部 EEPROM に書き込み、データを保存することができます。

設定方法については、PRO-iO マニュアルの「3.3 表示画面とメニュー画面 / 5.2 モジュール設定」を参照してください。

重要 ・ デフォルトでは自動書き込みは設定されていません。電源断時には初期値に戻ります。



・ 本体型式が DR1-A***** (カレンダー機能なし) については、上記のメモリバックアップ機能はなく、電源断時はすべて初期値に戻ります。

11 カレンダーのバックアップについて

本体型式が DR1-B***** (カレンダー機能付き) について、電源を長時間 (約 150 時間以上、25) 切ったままにしておくと、日付、時間は初期の値に戻りますので再度数値を入力してください。

初めて電源を投入される場合、1 時間以上の連続通電が必要です。

お断り

本製品を使用したことによるお客様の損害および免失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

株式会社 デジタル

〒 559-0031

大阪市住之江区南港東 8-2-52

TEL : (06) 6613-1101 (代)

FAX : (06) 6613-5888

URL : <http://www.proface.co.jp/>